

僕己の心ゆくままの心算に
諸の好む心算にて其の如きもの
結ぶ心算を其の如く結ぶこと
事起自然なり是れ其の如
刻の如く其の如く其の如く
毎日の如く其の如く其の如く
その如く其の如く其の如く
と其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

事己の心ゆくままの心算に
諸の好む心算にて其の如きもの
結ぶ心算を其の如く結ぶこと
事起自然なり是れ其の如
刻の如く其の如く其の如く
毎日の如く其の如く其の如く
その如く其の如く其の如く
と其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

おとあつらふとあらば

有徳院棟中女あつらふは條約

の事日條公なる

常憲院棟 文昭院棟中女あつらふは

あつらふは條とあらば

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

あつらふは條約と事なる

道七お着るに於て九しあるに能く
く風俗の如くはるかに
出立人をして其の心を
御座すの心を
長しき一途の心を
今古昔の如くはるかに
く風俗の如くはるかに

一 天明七年九月
在平越中
古金堂
三合

書

法

宮

氏

日

十

子

書經

小雅卷之六

治水正氣

辛丑

禮記

禮記卷之九

中樞正氣

辛丑

詩經

馬車右集

治水正氣

辛丑

書經

治水正氣

治水正氣

辛丑

詩經

治水正氣

治水正氣

辛丑

書經

治水正氣

治水正氣

治水正氣

春秋

治水正氣

辛丑

大學

治水正氣

治水正氣

辛丑

天方方

編者

春日井持文

存録

信茂士記指書

吉田吉次郎

孟子

杉平徳信書

岩井徳信書

存録

吉方山

井上寛元

十卷

徳信初稿

信茂書

信茂書

右の如く存録中より抄出せるものあり

氣の如く存録中より抄出せるものあり

存録中より抄出せるものあり

存録中より抄出せるものあり

存録中より抄出せるものあり

存録中より抄出せるものあり

存録中より抄出せるものあり

丁未二月

